

社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

南大塚保育園

すくわくプログラム活動「音」

活動報告②

いろいろな楽器の「音」をきいてみよう

たくさんの民族楽器を前にした子どもたち。
年齢ごとの楽器との関わりが出ていました。それぞれのクラスの子
どもたちの様子を共有するため、職員が動画や写真に残し、職員会
議の中で各クラスの報告会を行いました。

あえて音の鳴らし方や使い方を伝えず進めたことで、子どもたち
ならではの楽器へのアプローチのしかたに思わず驚ろいてしまう保
育士でした。今回は報告会で出た0歳から5歳のクラスの楽器への触
れ方を紹介します。

アプリを つかって♪



5歳児クラスは竹早教員保育士養成所より赤津裕子先生・白井真里先
生・新名佐和子先生をお招きし、紙粘土の制作をiPadのアプリでコマ
ドリした動画にしました。さらに自分たちで収録した身の回りの
「音」を、動画に取り込む活動を行い「音」の面白さを味わう経験
をしました。

打楽器テントを作りました 完成

秋以降の園庭フールの活用法として

作っていたテントです。

コロナ禍で2019年を最後に

しまっていたテントを

打楽器の部屋として

再び活用しました。

この中にたくさんの打楽器を
設置し各クラスの子どもたちが
楽器に触れられる様にしました。





0歳児りす組の様子

はじめて見る楽器への興味から、すぐに「オーシャンドラム」を持って振っていました。マレット（バチ）を見つけると振りながら、テントの骨組みや壁など、いろいろな場所を叩いて音を出す姿があります。

音が出る楽しさを味わうと、嬉しそうにハンドベルや鈴などほかの楽器にも興味をもって自由に振って喜んでいましたよ。

オーシャンドラム



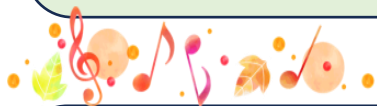
1歳児うさぎ組の様子



自分でたたいて音を出すことは嬉しくて笑顔になり、気分転換にもなっている様子でした。はじめて見た「ミニカホン」は乗ってみたい、座ってみたい、いろいろな方法で楽器に触れていました。

カホンの木目がまな板に似ていると気づいて、ままごとの包丁でお野菜を切ってみる様子もありましたよ。

ミニカホン



2歳児ばんび組の様子

打楽器テントに入って楽器に触れた日の様子です。友達と楽器の音を鳴らしながら顔を見合わせて演奏していました。好きな歌を保育士にリクエスト♪体を動かしながら楽器に親しみ演奏したい気持ちを開放していました。

ジャンベ





3歳児ぱんだ組の様子

「どうやってやるの？」いろいろな「楽器」を前にしてどうやって音を出すのか考えているようでした。保育士が音を出していると自分でもやってみようと楽器をもち、しだいにノリノリで音を鳴らしていました。園庭でも楽器の興味が拡がり、タイヤを叩いて音を出す姿が見られています。



カリンバ



フレームドラム



4歳児きりん組の様子



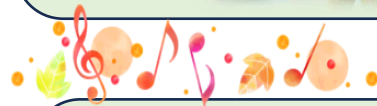
大塚という土地柄で子どもたちは阿波踊りのお囃子が大好き。おはやしにあわせて楽器を演奏していました。テントの中に入り込み演奏していると、友達との音がどんどん大きくなってパワフルになっていきます。「うるさっ！」自分たちで出した音に思わずびっくりしていました。



パチカ



ギロ



5歳児ぞう組の様子

アプリを使った音集めを経験したり動画に合わせるなどの活動をおこなってきたぞう組はいろいろな楽器も事前に紹介したり、騒音アプリで自分の声の大きさを測るなどしました。民族楽器はともだちと円になって合奏するなど全身を使って音を楽しむ姿が見られていました。

ミュージカルスプーン



次回は民族楽器と手作り楽器の集会と楽器作りの様子をお伝えします